

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 歯科医療安全管理体制推進特別事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係

電話番号：058-272-1111(内3281)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 961 千円 (前年度予算額： 961 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	961	961	0	0	0	0	0	0	0
要求額	961	961	0	0	0	0	0	0	0
決定額	961	961	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・医療法改正(平成19年4月施行)により、医療機関における安全管理体制の充実・強化・院内感染対策の充実、医薬品・医療機器の安全管理体制の確保が医療機関の管理者に対し、義務付けられたところである。
- ・このため、歯科医療機関においても安心・安全で質の高い歯科医療安全管理体制のさらなる整備を促進する。

(2) 事業内容

- ・歯科医療安全検討会の開催
- ・歯科医療安全研修会の開催

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助事業 医療提供体制推進事業費補助金【統合補助金】
基準額：961千円(定額)
- ・県費負担なし

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	961	歯科医療安全管理体制にかかる研修会及び検討会開催業務の委託
合計	961	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

- ・ 県費負担なし

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 事業目的が、安全で安心な質の高い歯科医療安全管理体制の整備を促進することであり、歯科医学的知識及び県内歯科医療機関の現状を熟知している県歯科医師会と連携して進めることが効果的である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

歯科医療安全管理対策を推進することにより、県民の歯科医療に対する信頼を確保することができ、歯科医療安全検討会での内容も踏まえ研修会を通して歯科医療従事者に対し、歯科医療安全に対する理解、正しい知識を普及啓発する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、医療安全管理体制を整備するために、歯科医療従事者の資質向上を目的としているため、指標化はそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	○医療安全研修会の開催 1回開催、346名参加 ○医療安全検討会の開催 1回開催 新型コロナウイルス感染症の患者数も徐々に落ち着きつつあるが、まだ、患者がいなくなったわけではなく、引き続き注意が必要な中、院内の感染対策などを、WEB方式による研修で受講することができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	○医療安全研修会の開催 1回開催、392名参加 ○医療安全検討会の開催 1回開催 研修会をWEB併用にすることで多くの歯科医療関係者に参加者いただくことができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	○医療安全研修会の開催 1回297名参加 ○医療安全検討会の開催 1回35名参加 研修会をWEB併用にすることで多くの歯科医療関係者に参加者いただくことができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

3

医療法の改正(平成19年4月)により、すべての医療機関で医療安全管理体制の整備が義務付けされており、安全安心な質の高い歯科医療を提供するため、本事業の必要性は高い。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

2

医療機関における安全管理体制の充実・強化の充実は極めて重要かつ常に最新情報を取り入れていく必要があり、他事業で実施された歯科医療安全研修会においても例年参加者が数多いこと等から事業効果は表れている。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

2

企画運営を適正かつ効果的に実施してきたノウハウをもつ者に委託することで、事業の効率化は図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

日進月歩の医療の中で、感染症への対策など、新たな課題は山積しており、引き続き歯科医療安全管理体制の整備は必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後も歯科医療従事者の医療安全に対する意識の向上を図る上で、有効な事業であるため、継続していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

